

令和2年度第1回白石高校

つなぐ つながる
夢 T ∞ T プロジェクト
会議資料

令和2年5月26日(火)14:00~15:30

於:白石高校普通科キャンパス会議室

令和2年度
地域とつながる「夢T∞Tプロジェクト」委員名簿

佐賀県立白石高等学校

【委員名簿】

	役職名	氏 名	備 考
1	委 員	筒井 直	白石町関係者
2	委 員	中川 君隆	大町町関係者
3	委 員	米田 貴美	江北町関係者
4	委 員	岸川美和子	学校関係者・議長

【事務局】

1	事務局	徳永 智浩	学校関係者（副校長）
2	事務局	中島 淳	学校関係者（副校長）
3	事務局	溝口 俊彦	学校関係者（事務長）
4	事務局	御厨 久充	学校関係者（主幹教諭） 商業科キャンパス代表
5	事務局	渕野 達郎	商業科キャンパス代表
6	事務局	岩谷 祥史	普通科キャンパス代表
7	事務局	光田 新吾	普通科キャンパス代表
8	事務局	門田 芳彦	コーディネーター

2019年度新白石高校「夢T∞Tプロジェクト」事業報告

資料2

佐賀県立白石高等学校

	期日	取組内容	
		普通科キャンパス	商業科キャンパス
一学期	5月16日	第1回チーム会議開催（高校・3町）	
	5月23日	第1回「魅力づくりプロジェクト」情報交換会	
	5月25日	小中学校連携事業（白石アスリート（陸上）練習会）	
	6月	学校HPにコンテンツ設置	学校HPにコンテンツ設置
	6月13日	小中学校連携事業（杵島地区剣道合同稽古会）	
	6月13日 ～15日	先進校視察（島根県立隠岐島前高校・隠岐国学習センター）	
	6月～7月	3町訪問（魅力ある学校について、連携の在り方について等聞き取り）	
	6月～7月	チーム名募集（生徒・職員）	チーム名募集（生徒・職員）
	7月2日	西九州大学（看護学部）体験・見学会【普C18名、商C1名 計19名参加】	
	7月9日		佐賀県高等学校商業研究発表大会（大町町のトライアル進出に係る取材に基づく報告）→優秀賞受賞
	7月11日	長谷川アドバイザーとの意見交換	
	7月16日	鳳雛塾による生徒対象ワークショップ「高校生目線の魅力ある学校とは？」（校舎別）	
	7月30日	ドイツスポーツ少年団受入れ（剣道・ポッチャ体験、インクルージョンに関する討論）	
	8月1日		中学生対象プログラミング教室
	8月2日		小学生対象プログラミング教室
	8月7日 ～9日		シニア向けタブレット教室
	8月20日	中学生対象オンライン英会話（高校一日体験入学で実施）	
	8月23日	第2回「魅力づくりプロジェクト」情報交換会	
	9月～11月	普商合同チームでの「企画甲子園」参加（一次審査突破）	
	9月30日	白石町役場職員からの講義（白石町の抱える課題や将来像、地元の高校生に望むこと等）	
10月9日	長谷川アドバイザーとの意見交換		
10月12日	小中学校連携事業（白石アスリート（陸上）練習会）		
10月16日	保育園実習（六角保育園 11月13日、12月11日、2月5日 計4回）		
10月17日	小中学校連携事業（杵島地区剣道合同稽古会）		
11月6日	白石町副町長講演「白石町の将来について」		
11月6日		大町町地域おこし協力隊の方の講演及びディスカッション	
11月9日		【販売実習】江北町イオン	
11月16日 ～17日		【販売実習】武雄市地域イベント	
11月17日		【販売実習】江北町地域イベント	
11月16日	職業人講話		
11月21日	第2回チーム会議	第2回チーム会議	

夏季休業中

二学期

	期日	取組内容	
		普通科キャンパス	商業科キャンパス
冬季休業中	11月22日	白石中学校訪問・高校プレゼン（両キャンパス生徒会合同）	
	11月25日	第3回「魅力づくりプロジェクト」情報交換会	
	12月3日 ～4日	先進校視察（京都府立京都すばる高校、京都市立堀川高校、大阪府立ビジネスフロンティア高校）	
	12月4日	いのちの教育講演会（生徒・保護者・地域住民）	
	12月25日	小中学校連携事業（白石アスリート（陸上）練習会）	
	12月～1月	アイデア募集アンケート（対象：生徒、職員、地域住民）	
	1月18日	音楽部施設訪問ボランティア（介護老人保健施設「白い石」）	
	1月26日	小中学校連携事業（白石地区小学生対象野球交流会）	
	1月29日	外部講師による郷土料理「須古寿司」調理実習 （2月3日、2月4日 計3回）	
	三学期	3月7日	白石高校・白石中学合同定期演奏会→【中止】
3月15日			子どもマルシェ（大町町との共同企画）→【中止】 ・第1回企画会議（12月18日） ・第2回企画会議（2月18日）
3月16日		第3回新白石高校「夢T∞Tプロジェクト会議」 第4回「魅力づくりプロジェクト」情報交換会	

※六角小学校放課後児童クラブ手伝い（週2～3日）

【小中学校WG】

スポーツ交流・支援 (陸上)	小中学生対象	5月25日(土)【全5回】	於：白石中グラウンド
	200名弱の小中学生が参加。開講式を行った。		
スポーツ交流・支援 (剣道)	小中高生・一般対象	6月13日(木)【全3回】	於：普通科CP武道場
	200名以上の参加者。世代を超えて合同練習を行った。		
プログラミング教室	小中学生対象	8月1日(木)、2日(金)	於：商業科CP情報処理室
	1日は中学生、2日は小学生を対象として、情報ビジネス科の2年生がプログラミングの指導を行った。参加者の反応は良く、保護者からも「継続してほしい」の声があった。		
オンライン英会話	中3生対象	8月20日(火)	於：普通科CP教室
	普通科CPの体験入学時に、希望者14名を対象に実施した。		
学習支援	小学生対象	週2回	於：六角小学校
	近隣の小学校の学童保育の時間に、本校JRC部の部員が5名ずつ週2回訪問し、小学生に学習指導を行っている。		

【大学・専門学校連携WG】

西九州大学見学 (看護学部)	普通科CP18名、商業科CP1名	7月2日(火)	於：西九州大学 小城CP
	本校では看護系への進学希望者が多く、看護師に対する地域ニーズも高いことから、本年度より西九州大学と連携し、学科説明、施設見学等を行った。今後検討を進め、看護系の職場体験等もできればと考えている。		
西九州大学出張講義	普通科CP3年生19名	7月18日(木)	於：普通科CP教室
	普通科CP3年生の希望者が参加。総合的な学習の時間に学んだ内容に上乘せする形での講義を依頼した。県内大学である西九州大学の子ども学科、看護学科、健康栄養学科の先生方からそれぞれ講義をいただいた。他の学問分野にも拡大していきたい。		
佐賀大学 (経済学部)	「総合的な探求の時間」における9分野の1つである「経済」(特に地域経済)において、講師派遣等、連携の在り方を進路指導部を中心に佐賀大学経済学部と検討中である。		

【地域連携WG】

地域課題学習	11月6日（水）に、普通科CPは白石町副町長の講演を、商業科CPは大町町地域おこし協力隊の平井さんの講演及びディスカッションを行い、それぞれの町の歴史や、現在抱えている課題等について理解を深め、今後の学習へとつなげる端緒とした。		
ドイツのスポーツ少年団との交流会	剣道部、普通科CP3年生約50名	7月30日（木）	
	於：普通科CP武道場、体育館、多目的教室 白石町の依頼により、ドイツのスポーツ少年団（学生9名、引率4名）を受け入れ。午前中は剣道体験、午後はポッチャ体験を行った後、普通科CP3年生とインクルーシブ教育等についてディスカッションを行った。		
高齢者向けタブレット教室	商業科CP情報処理部13名	8月7日（水）～9日（金）	於：商業科CP
	大町町の社会福祉協議会からの依頼により開催。6名の高齢者を対象に、情報処理部の1・2年生が手ほどきした。		

《その他》

老人介護施設訪問ボランティア（音楽部）、読書祭りでの読み聞かせ（放送部）、地元小学校児童クラブへの支援（JRC）、保育園実習・外部講師による郷土料理実習（家庭科）、子どもマルシェ（商業科）等

【企業連携WG】

佐賀県高等学校商業高校研究発表会	商業科CP7名	7月9日（火）	於：佐賀市文化会館
	「地域とつながる未来像～小売業から見える検証～」というテーマで発表を行った。大町町に「TRIAL」が進出したことによる既存小売業者への影響を調査し検証した。優秀賞を受賞。		
販売実習	商業科CP	11月9日（土）	於：江北町イオン
		11月16日（土） ・17日（日）	於：武雄市地域イベント
		11月17日（日）	於：江北町みんなの公園
	商業施設やイベント会場において、実際の客に対して開発商品等の物品販売を行った。また、江北町「みんなの公園」での実習では、江北町からの依頼により、来場した子供たちの世話も併せて行った。		

新白石高校「夢T∞Tプロジェクト」アイデア募集結果

資料4

番号	各町名	回答の内容
1	白石町	・高校の運動部と中学校の部活の交流をしてほしい。(運動教室等)
2	白石町	・パークゴルフ、グランドゴルフ、ゲートボール等を一緒にしましょう。(白石町老人会)
3	白石町	・放課後子どもの宿泊体験学習に参加協力してほしい。
4	白石町	・地域、地区の行事(スポーツ大会・各種団体活動)にスタッフとして携わっていただけたら助かります。
5	白石町	・高齢者とお散歩を切に望む!
6	大町町	・中学校の部活動と合同練習会を行うなどスポーツの交流を深めてほしい。
7	大町町	・高校生とあいさつ運動がしたい。高校生が通学中に地域の委員さんが挨拶しているポイントで5分でも交流できればと思っています。
8	大町町	・書道、部活動、情報 高校生の特色を生かして、総合学習の後方支援
9	大町町	・大町ひじり学園のプログラミング学習の先生に来てほしい。
10	大町町	・放課後子どもの宿泊体験学習に参加協力してほしい。
11	大町町	・始業前の読み語りに手伝いをしてほしい。 ・放課後にプログラミング教室をしてほしい。
12	大町町	・文化発表会を盛り上げるような企画をお願いしたい。 ・町の文化祭や運動会に参加して盛り上げてほしい。

「夢T∞Tプロジェクト」 ～ ESD in KISHIMA ~

(Education for Sustainable Development)

資料 5

「持続可能な社会づくりの担い手を育む教育」を推進する白石高校プロジェクト

《プロジェクトの目的》

生徒達が地域との体験的、実践的な取組を通して、地域資源の発見や見直しを行い、地域課題の解決につながる価値観や行動について考えを深め、地域を愛する心を育み、持続可能な地域社会を創造できる力を育成する。

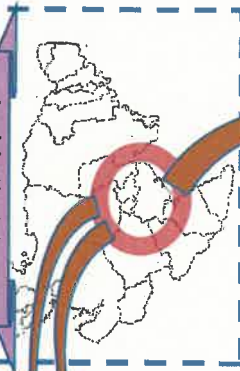
「夢T∞Tプロジェクト」(夢プロ)のめざす学校とは？

- ◎ 地域の生徒が**行きたい**と思う学校
- ◎ 地域との連携を通して、**探究的・実践的な教育を実現**する学校
- ◎ 地域**活力の向上**に生徒**自らが貢献**できると思うようになる学校
- ◎ 地域に**とって次代の担い手を輩出**する学校
- ◎ 地域に**愛され、地域に信頼**される学校

目的の達成に向けた基本方針とは？

- ◎ 「2つのキャンパス」で学科の強みを活かす
- ◎ 「3つの町」と連携しながら
- ◎ 「4つのワーキンググループ」で取り組む
- ◎ PDCAサイクルによるブラッシュアップ

所在地は佐賀県の真ん中



大学・専門学校 WG

地域に根差した近隣の大学や専門学校等と連携し、体験入学などを通して進学に対する意識を高揚させ、将来のキャリア形成について考えるとともに、持続可能な地域社会の創造について考えを深める。
《取組事例》 大学・専門学校への体験入学、講演会の開催 等

小・中学校 WG

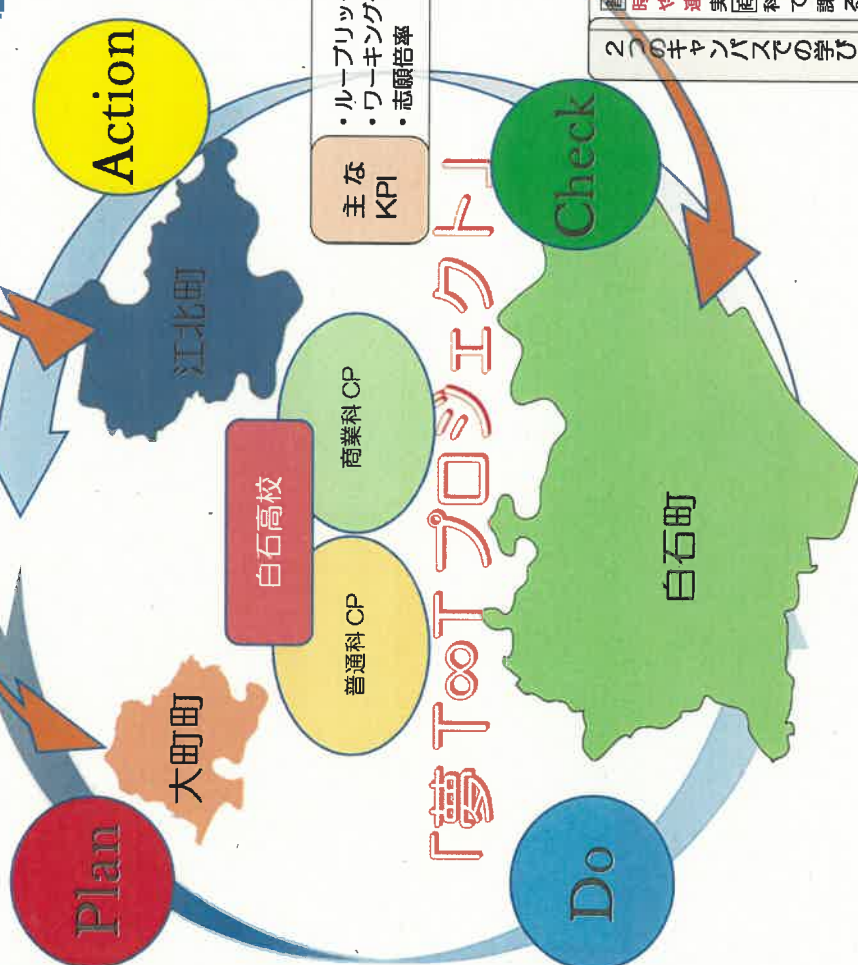
地域の小中学生を対象とし、本校の教育内容の魅力アピールするとともに、小中学生の学習やスポーツへの興味・関心を深め、地域の活力や魅力の向上に向けて主体的に取り組む。
《取組事例》 スポーツ教室、プログラミング学習 等

企業連携 WG

これまで商業科で取り組んできた活動をもとに、地域企業の意見も取り入れながらビジネス実践力を高める取組を行い、地域経済の現状や課題について考えを深める。
《取組事例》 商工会議所主催等のイベントでの販売実習、企業のHP作成、地元企業との共同商品開発 等

地域連携 WG

これまで実施してきた地域ボランティアやシニア層との交流活動を継続しながら、地域からの新たな要望についても検討し、一層の連携を強める。また、生徒が地域の課題に気づき主体的に解決に向けて取り組む姿勢を養う。
《取組事例》 地域探学習、地域ボランティア、シニア向けタブレット教室、地域講師による講演会 等



2つのキャンパスでの学び

普通科 CP: 各教科・科目や総合的な探究の時間、校外学習、部活動等を通して地域課題や課題について得た知識や経験を相互に関連させ、課題解決に向けた探究的な学びを実施する。

商業科 CP: 商業の専門分野を含む各教科・科目や課題研究、校外学習、部活動等を通して、地域の産業界等と連携・協働しながら、課題解決に向けた探究的な学びを実施する。

<平成30年度(2018年度)>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内容												協働事業の準備 ・学校組織の立ち上げ ・関係町への説明 ・関係町への聞き取り ・2019年度前半の協働事業案作成 ・2019年度予算案作成

<令和元年度(2019年度)>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
内容	チーム編成 WG(ワーキンググループ)編成	チーム(協議会等)会議① ・チーム顔合わせ ・全体構想検討 ・アクションプラン検討 ・WG事業(前期)の検討等	チーム(協議会等)会議② ・全体構想決定 ・アクションプラン策定 ・WG事業(前期)実践報告 ・WG事業(後期)の検討等	各WGによる協働事業の準備・実践(2019前期)	各WGによる協働事業の準備・実践(2019後期)	地域連携 アイディア 募集 アンケート	チーム(協議会等)会議③ ・WG事業(後期)実践報告 ・2019年度の取組検証 ・2020年度協働事業に向けた改善案の検討等						次年度協働事業の準備

<令和2年度(2020年度)>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
内容	新チーム編成 新WG編成	チーム(協議会等)会議④ ・新チーム顔合わせ ・アクションプラン確認 ・2019年度事業報告 ・2020年度事業計画等	チーム(協議会等)会議⑤ ・WG事業(前期)実践報告 ・WG事業(後期)の検討 ・中間報告とりまとめ ・中間報告会実施要領検討等	各WGによる協働事業の準備・実践(2020前期)	各WGによる協働事業の準備・実践(2020後期)	中間報告会 (フォーラム予定)	チーム(協議会等)会議⑥ ・WG事業(後期)実践報告 ・2020年度の取組検証 ・中間報告を踏まえた改善案の検討等						次年度協働事業の準備

<令和3年度(2021年度)>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内容	新チーム編成 新WG編成	チーム(協議会等)会議⑦ ・新チーム顔合わせ ・アクションプラン確認 ・2020年度事業報告 ・2021年度事業計画等	チーム(協議会等)会議⑧ ・WG事業(前期)実践報告 ・WG事業(後期)の検討 ・実践報告とりまとめ ・実践報告会実施要領検討等	各WGによる協働事業の準備・実践(2021前期)	各WGによる協働事業の準備・実践(2021後期)	実践報告会	チーム(協議会等)会議⑨ ・WG事業(後期)実践報告 ・プロジェクト取組検証 ・指定終了後の協働事業の検討等	実践報告書提出				「協働」の継続 モデルの普及

令和2年度「地域との協働による高校の魅力づくりプロジェクト」
「夢T∞Tプロジェクト」商業科キャンパス 今後の予定

[4つのワーキンググループ]

- ①大学・専門学校WG
- ②小・中学校WG
- ③企業連携WG
- ④地域連携WG

[課題研究の設定講座として「地域活性化」を開講]・・・3年生選択者「21名」、担当教諭2名
ふるさとを知り、地域の課題発見・解決のための考察を行い、地域のイベントなどに参加
することを通して、地元企業・地域社会に貢献する。

②小・中学校WG

- ・地域からのニーズが高い「プログラミング学習」の実施
→ スクラッチやロボット制御

③企業連携WG

- ・昨年度まで実施していた「きしま学び舎」の協力企業と連携し、各種イベントでの
販売協力・実習を実施
→ 既存商品の販売促進・販売協力、新規商品の提案
各市町で実施予定の地域イベントへの出店

④地域連携WG

- ・シニア向けタブレット教室や子育て支援イベントへの協力
→ 簡単なソフト利用から情報活用方法の周知
昨年度末、延期した「大町こどもマルシェ」の実施協力
- ・地域ボランティアの実施
→ 公共機関等での実施
- ・地域講師による講演会
→ 地方公共団体、NPO法人等より講師招聘

※課題研究 講座選択者「21名」を3チームで編成

- 江北町(7名)、大町町(7名)、白石町(7名)の3チーム
- 各町の現状把握、課題発見、提案検討 → 各町担当者との打ち合わせ調整

※①大学・専門学校WGについては、「4年制大学希望」の生徒からの希望がある場合は
普通科キャンパスの生徒と合同で、参加させる方向で検討中。

『地域連携講座』について

【企画内容】

1 目的	総合的な探究の時間を利用し、実際の行政課題とその解決策を学ぶことで、『夢を形に』プロジェクトでの課題解決学習の参考とする。	
2 日時	令和2年6月22日(月)	
3 場所	白石高等学校普通科各教室	使用教室詳細は下に記載
4 対象	1年生(普通科)	
5 内容	(1) 打ち合せ(小会議室) (2) 各分野ごとに講話 (3) 意見交換(小会議室)	14:30~14:40(10) ①14:45~15:20(35) ②15:30~16:05(35) 16:10~16:30(20)

【使用教室詳細】

分野	福祉	防災	農業	教育
使用教室(仮)	1年1組、2組、3組、多目的教室			
1コマ目 14:45~15:20	担当教員:未定	担当教員:未定	担当教員:未定	担当教員:未定
2コマ目 15:30~16:05	担当教員:未定	担当教員:未定	担当教員:未定	担当教員:未定

※1 生徒は4分野のうち希望する2講座を受講(希望調査は後ほど実施)

※2 上記4講座のうち希望者数が少ない場合は、1コマ目か2コマ目のいずれかの講座に集約

【講師の先生方に依頼している講座の内容】

- ・各分野において、かつての行政的課題とそれをどのようにして解決していったかに触れる
- ・各分野において、現在の行政的課題に触れ、それについてどうすれば解決に近づくことができるか生徒に考えさせる

2020新白石高校「夢T∞Tプロジェクト」事業計画(案)

資料8

佐賀県立白石高等学校

期日(予定)	取組内容	
	普通科キャンパス	商業科キャンパス
4月～6月	第4回「夢T∞Tプロジェクト会議」 新チーム顔合わせ・アクションプラン確認・2019年度事業報告・2020年事業計画等	
	小中学校連携事業 白石アスリート(陸上競技)開講式	
	1年生総合的な探求の時間 白石町役場職員からの講義(白石町の課題・地元高校生に望むこと等)	
	1年生総合的な探求の時間で経済のブースで地域連携を学習 (地域連携の学習を年間を通じて学習し、3学期に発表する) 白石町	3年生課題研究で「地域を学ぶ」講座選択者で地域連携を学習 (地域連携の学習を年間を通じて学習し、3学期に発表する) 江北町・大町町・白石町
	小中学校連携事業 杵島地区剣道合同稽古会(1回目)	
	先進校視察()	先進校視察()
	白石町・江北町・大町町役場を訪問(魅力ある高校の在り方について意見交換を行う) 白石町役場(企画財政課課長・保長)江北町役場(政策課課長・保長)大町町役場(教育長・指導主事)	
	アドバイザーとの意見交換	
	高大連携 佐賀大学教授(大車教授)の講演会 全校生徒を対象に	
	小中学校連携事業 白石アスリート(陸上競技)2回目	
7月～8月		中学生対象プログラミング教室
		小学生対象プログラミング教室
		シニア向けタブレット教室
	小中学校連携事業 白石アスリート(陸上競技)3回目	
	中学生対象オンライン英会話(高校1日体験入学で実施)	
	探求の時間で経済のブースで地域連携を学習 (地域連携の学習でフィールドワーク 白石町役場訪問) (夏休み期間に3回フィールドワークを実施予定)	
9月～10月	「魅力づくりプロジェクト」情報交換会	「魅力づくりプロジェクト」情報交換会
	普通科キャンパス・商業科キャンパス合同チームでの「企画甲子園」に参加	
	白石町役場職員からの講義(白石町の課題・地元高校生に望むこと等)	大町町役場職員からの講義(大町町の課題・地元高校生に望むこと等)
	小中学校連携事業 白石アスリート(陸上競技)4回目	
	小中学校連携事業 杵島地区剣道合同稽古会(2回目)	
	アドバイザーとの意見交換	
	第5回「夢T∞Tプロジェクト会議」 ワーキング事業(前期)実践報告・ワーキング事業(後期)の検討 中間報告のとりまとめ・中間報告会実施要領検討	

期日(予定)	取組内容	
	普通科キャンパス	商業科キャンパス
11月～12月	両キャンパス同時に地域教育講演会(地域の方から高校生に講演をしてもらう) 【参考】令和元年度(普通科キャンパス:白石副町長)(商業科キャンパス:大町町地域おこし協力隊)	
		【販売実習】江北町イオン
		【販売実習】武雄市地域イベント
		【販売実習】江北町地域イベント
	地域とつながる魅力ある高校づくり:中間報告会(フォーラム予定)	
	有明中学校訪問:高校プレゼン(生徒会)	江北中学校訪問:高校プレゼン(生徒会)
		プログラミング教室(白石町内小学校)
	令和2年度 アイデア募集アンケート (対象:生徒、職員、地域住民)	令和2年度 アイデア募集アンケート (対象:生徒、職員、地域住民)
	先進校視察()	先進校視察()
	小中学校連携事業 白石アスリート(陸上競技)5回目	
	教育講演会	教育講演会
1月～3月	第6回「夢T∞Tプロジェクト会議」 ワーキング事業(後期)実践報告・2020年度取り組み検証 中間報告を踏まえた改善案の検討等	
	小中学校連携事業 白石アスリート(陸上競技)6回目	
	小中学校連携事業 杵島地区剣道合同稽古会(3回目)	
	探求の時間で経済のブースで地域連携を学習 「夢を形に」プロジェクト発表会(1・2年生)	課題研究発表会
	次年度協同事業検討会議(校内)	
その他		

2020年度 校内組織体制（案）

<職員>

- 本プロジェクトは基本的に学校全体で取り組むものである。
- 校内担当者として、各校舎に1名ずつ置く。
- 担当者のうち一人をプロジェクト主任とし、もう一人の担当者を副主任とする。
- 本プロジェクトは、校務分掌の業務として位置付ける。

<生徒>

- 2019年度は各WGの事業に対応して、学校全体、部活動、学年、クラス、個人などそれぞれに取り組んでいた。
- 上記に加え、2020年度は、普通科「総合的な探求の時間」及び商業科「課題研究」に地域と連携する講座を設定し、地域研究、地域連携を深めることとする。

例) 商業科・情報ビジネス科 第3学年「課題研究」

6講座 「企業会計」「デジタル表現」「経済事象研究」「労働現場研究」
「接遇マナー」「地域活性化」

2 地域との連携について、今のあなたに当てはまるものを選んで記号を書きなさい。

指標 (めざす学校像)	資質・能力 (伸ばしたい力)	概要	①	②	③	④	⑤
地域との連携を通して、探究的・実践的な教育を実現する	A 知的好奇心 探究心	A 地域連携事業を通して、知的好奇心を刺激され、探究的に学習に取り組もうとする。	地域社会の現状について、基礎的な知識を持っている。	地域社会の現状について基礎的な知識を持ち、本やICT等を用いて更に知識を得ようとしている。	地域社会の現状について知識を得るとともに、地域課題に関わる情報を収集している。	地域社会の現状について知識を得るとともに、地域課題の解決に向け、日々の学びを活かそうとする。	地域社会の現状について知識を得るとともに、地域課題の解決に向け、主体的に深く学習しようとする。
	B 思考力	B 問題の原因や構造を論理的に深く考え、情報を整理して、課題を理解することができる。	与えられた情報の内容を理解・整理することができる。	与えられた情報と学んだ知識を関連させながら、思考することができる。	自ら収集した情報と学んだ知識を関連させながら整理し、思考を深めることができる。	情報を収集し、学んだ知識も合わせて分析・評価・活用しながら、課題を発見することができる。	情報や知識を総合的に整理し、因果関係を明らかにして、発見した課題を構造的に理解できる。
	C 実践力・実行力	C 掲げた目標や解決したい課題に対して、行動を起こすことができる。	全体の目標に対して、ネガティブな言動をせず達成に向けて努力できる。	全体の目標に対して、ポジティブに達成に向けて努力できる。	全体の目標に対して、周囲にポジティブな影響を与えながら達成に向けて行動しようとする。	全体の目標に向け、周囲にポジティブな影響を与えつつ、自らの役割を確実に果たして、達成に向けて行動できる。	全体の目標に対して、自らの役割を積極的に果たすとともに、達成に向け率先して行動できる。
地域活動の向上に生徒自らが貢献できると思うようになる	D 自己肯定感	D 自分を意味ある存在として考え自信を持ち、課題解決のために自分の役割を見つけ、全力で取り組み、遂行できる。	自分を意味ある存在として考えることができる。	自分を意味ある存在として考え、課題解決のためにできることがあると思う。	自分を意味ある存在として考え、課題解決のために自分の役割を見つけ、取り組もうとする。	自分を意味ある存在として考え、課題解決のために自分の役割を見つけ、取り組む。	自分を意味ある存在として自信を持ち、課題解決のために主体的に責任を果たし遂行できる。
	E 自分を振り返り(メタ認知力)、更えようとする力	E 自分の言動や行動を高いレベルから見つめ直し、常に改善しようとする意識を持ち、次の行動につなげることができる。	自分を向上させるために、自分自身で目標を立てることができる。	自分を向上させるために、目標に近づこうと努力している。	自分を向上させるために、目標に近づこうと努力をし、言動や行動を改善しようとする。	自分を向上させるために、言動や行動を客観的に見つめ直し、言動や行動の改善に取り組む。	自分を向上させるために、言動や行動を客観的に見つめ直し、言動や行動の改善に取り組む。社会で生かそうと思う。
	F マネジメント力	F 自分や組織での取組を計画性を持って進めることができる。	指示を受けながら、自分のペースで取組を進めることができる。	指示されなくても自発的に、自分のペースで取組を進めることができる。	自発的に全体スケジュールを意図しながら計画的に取組を進めることができる。	全体スケジュールを意図しながら、いくつかの取組を優先順位をつけて進めることができる。	全体の流れを把握し、必要な作業を整理し、全体スケジュールを意図しながら計画的に取組を進めることができる。
地域にとって次代の担い手を輩出する	G 主体性	G 社会を支える当事者としての意識を持ち、地域や国内外の未来を真剣に考えることができる。	所属する集団の一員としての自覚を持つ。	社会の一員としての自覚を持ち、地域社会が抱える問題を理解している。	社会の一員としての自覚を持ち、社会が抱える問題に目を向け、問題解決に取り組もうとする。	社会の一員としての自覚を持ち、社会が抱える問題に目を向け、問題解決に取り組む。	社会の一員としての自覚と社会・未来を良くしようとする志を持ち、問題解決に主体的に取り組む。
	H 寛容的態度	H 文化や価値観の違う他者を受け入れ、思いやるあたたかさを持ち、協調して共に高めようすることができる。	異なる文化や価値観の違いがあることを知っている。	異なる文化や価値観の違いを理解しようと努める。	異なる文化や価値観を尊重する。	異なる文化や価値観を尊重し、受け入れる。	異なる文化や価値観を自分や社会をより良くしていくための重要なものと考えて受け入れられる。
地域に愛され、地域に信頼される	I 協働力	I 仲間と協力・協働しながら互いに高めあえる行動が取れる。	集団や他者の中で、決められたことや指示されたことに個人として取り組むことができる。	集団や他者の中で、目標達成や問題解決に向けて、自分の役割を見つけ取り組むことができる。	目標達成や問題解決に向けて、自分の役割を果たしつつ、仲間と協力・協働して取り組もうとする。	目標達成や問題解決に向けて、自分の役割を果たしつつ、仲間と協力・協働しながら取組を進めることができる。	目標達成や問題解決に向けて、自分の役割を果たしつつ、仲間と協力・協働して高め合うことができる。
	J 地域への愛着・地域志向	J 地域に対する愛着を持ち、地域の良さを認めつつ、地域課題の解決に貢献したいと思う。	地域の歴史や文化、経済等について基本的なことを知っている。	地域の歴史や文化、経済等について、基本的なことに加え、自ら学んでもいる。	地域の歴史や文化、経済等について、多様な知識を持ち、その実態を理解している。	地域の歴史や文化、経済等について、多様な知識を持ち、その実態を理解するとともに課題にも気付いている。	地域の歴史や文化、経済等について、多様な知識を持ち、実態を理解するとともに、課題の解決に貢献したいと思う。

